



鳥居局長(中央)から贈られた切手を披露する小沢市長と及川会長(右)

日本郵便(株)が作製した「日高火防祭」フレーム切手の贈呈式が3月18日に行われました。水沢郵便局の鳥居一男局長より、9町組のはやし屋台と町印、各屋台が集結する遙拝式がデザインされた切手が、小沢昌記奥州市長と日高神社火防祭保存会の及川右会長へ手渡されました。

切手は3月23日から市内および近隣市町の郵便局70局で販売され、82円切手10枚組で1230円。鳥居局長は「昨年の倍となる2000枚を用意した。販売を通じて市と祭りをPRしたい」と語りました。

「記念切手で日高火防祭の情報を発信」



若手職員から就職の心得などもアドバイス

市と金ケ崎町、ジョブカフェ奥州は、2月25日、ブラザイン水沢を会場に「胆江地区しごと理解ガイダンス」を開催しました。高校生の地元就職への意識や仕事への理解を深めるため、協和学院水沢第一高校(伊藤勝校長)をモデル校に初めて企画。2年生117人が参加しました。

生徒たちは、ジョブカフェいわてのキャリアカウンセラーによるセミナーを受けた後、製造業や医療・福祉などから5業種10事業所のブースを訪問。仕事の説明や先輩職員の体験談に熱心に耳を傾けていました。

「高校生を対象としたガイダンスを初開催」



供用を開始した江刺愛宕地区センターの外観

市が昨年度から移転改築を進めてきた江刺愛宕地区センターが完成し、4月1日から供用を開始しました。

江刺西体育館(江刺区愛宕字宿)に併設する同センターは、同体育館と調和する外観で、全館にLED照明を設置。非常時にポータブル発電機から内部に電気を供給するシステムを備え、稼働式間仕切りにより3つの会議室を1室として利用することもできます。

江刺愛宕地区の活動拠点が一新され、地域コミュニティの活性化が期待されます。

「江刺愛宕地区センター供用開始」



昨年11月に全戸配布されたみんなの防災手帳の使い方を講演

市は「地域ぐるみ防災セミナー」を3月12日に江刺総合支所で開催しました。防災や災害発生に備えた自助・共助・公助の仕組みづくりを学ぼうと、自主防災組織や消防団員など約200人が参加。胆江区の出店自主防災会による防災活動の事例発表のほか、東北大学災害科学国際研究所の佐藤翔輔助教による講演が行われました。

佐藤助教は「手帳を使って、災害時の役割分担、家族の血液型などの情報共有について家族会議をしてほしい」と「みんなの防災手帳」の活用を呼び掛けました。

「安全に暮らすため、防災を学ぶ」

みずさわ 何かをしたいの思いは届く キャンドルライトプロジェクト2016



2016 本のキャンドルが幻想的な景色を作り出した

東日本大震災から5年の歳月が経過した3月11日。水沢高校の中庭にキャンドルで表した「PRAY FOR JAPAN 3.11 MHS」の文字が灯されました。

このイベントは、同校の生徒が企画したキャンドルライトプロジェクトの最終幕で、犠牲者への追悼と風化防止を呼び掛けた募金活動を通じ、被災地の復興支援につなげたいという思いが強く込められています。

「10人くらいで活動を始めた頃は不安があった。先輩や先生、地域の人が応援してくれて、一人一人の小さな力が集まり絆が生まれた」と話す発起人の1人、同校1年の吉田未南さん(16)。その思いを表すように、キャンドルは美しい輝きを放っていました。

えさし えさし甚句を彩る3輪の桜 江刺甚句むすめ委嘱状交付式

5月3日、4日に開催される第43回江刺甚句まつり。この祭りのPR活動を担う「江刺甚句むすめ」が決まり3月25日、江刺総合支所で委嘱状が交付されました。

ことしの甚句むすめは、富田都さん(24)＝江刺区稲瀬＝、相原瑞希さん(24)＝同区愛宕＝、阿部邑佳さん(24)＝同区岩谷堂＝の3人。桜色を基調とした着物にたすき姿の3人は「自分たちが楽しんだ経験を生かして、今度はその楽しさを伝えたい」「大好きな江刺、そして甚句まつりを笑顔で盛り上げたい」と抱負を語りました。



笑顔でまつりをPRする(左から)富田都さん、相原瑞希さん、阿部邑佳さん



調印後握手を交わす(左から)及川晃一理事長、細川勝男理事長、松井光弘代表理事

おしゅう 姉妹都市の縁がつなぐ協定

掛川市管工事業協同組合と災害時相互応援に関する協定締結

市水道工事業協同組合(細川勝男理事長)、江刺上下水道工事業協同組合(及川晃一理事長)、掛川市管工事業協同組合(松井光弘代表理事)の災害時相互応援に関する協定が、3月25日に締結されました。本市の姉妹都市間で民間団体が結んだ災害協定はこれが初です。

松井代表理事が「協定を結ぶことができて良かった。これからもよろしくお願ひしたい」と感謝を述べると、細川理事長は「締結して終わりではなく、両市のために協力していきたい」と応えました。